問 町の観光振興に必要なことは

町長 現状と課題を整理し振興に努める



大野（おおの） 良弘（よしひろ） 議員

観光はみんなの
おもてなしの心から♡

観光振興の状況

問 町の観光の現状と課題の認識を伺いたい。

町長 観光資源を活用した観光政策によって地域経済に波及させる仕組みが弱いことが課題である。地域活性化起業人を登用し調査・研究している。

問 これまで産業観光振興協議会がイベントなどを企画し実行委員会が日夜努力してきたが、新たに観光振興を目的としたまちづくり株式会社も発足し、誰が観光振興政策を企画してリードしていくのか。

町長 産業観光振興協議会は年一回の総会で事業計画を定め、実行委員会が各種のイベントを運営している。

新しい観光政策の立案に関しては、経済振興室で担当していくことになる。

新たに設立したまちづくり株式会社は、観光振興協議会とは別に、独自の目標を掲げて観光振興を図っていく。

観光情報の必要性

問 日曜日や祝日に観光客が町を訪れた時に、観光情報を受け取れる環境にない。

ガソリンスタンドやコンビニに観光情報の分かるパンフレットを置いて、おもてなしの対応をお願いしてはどうか。

町長 おもてなしの対応は必要である。今後、日曜日などの観光情報提供をどうするかを検討していきたい。

観光人材の育成

問 訓子府町には観光情報発信拠点がない。訓子府駅跡や空き店舗の活用など、発信拠点をどこに置くかを検討してほしいと望むところである。

各地にある道の駅や産業観光振興政策の先進地について、調査や研究はされているのか。

観光振興協議会のメンバーが研修できる体制になっているのか。

町長 訓子府町の観光をPRする時に協議会のメンバーに参加協力を求めている事例はあるが、新しい観光開発を目的として何かを研究するということまではしていない。



町長 体験型観光は新たな観光プログラムとして可能性がある。

さまざまな主体と連携しながら、町の産業や自然・食などの地域資源を生かしたテーマの設定や体験プログラムを発掘・事業化し、訓子府町や特産PRに結び付け、関係人口を創出していく観光振興を展開していきたい。

体験観光の検討

問 子どもたちの体験イベント、美幌町の神社祭、岩手県雫石（しずくいし）町の軽トラ市などのような町民が出店しやすい方法を検討してはどうか。

多くの観光客を集めているヒントを研究してほしい。

体験観光を研究する考えはあるか。



大野議員の一般質問を視聴できます